

かわら版

あかびら市議会

N.O.
43

- 13日 市長、教育長報告・24件の議案説明、質疑の後、統合中学校建設工事、農業委員会委員の任命など16議案を可決、8議案を行政常任委員会に付託。また、赤平振興公社の経営状況など4件を報告済とした。
- 14日 行政常任委員会で付託された8議案について審議し、全会一致及び賛成多数で可決。また、JR北海道の路線見直しに関する根室本線の状況、旧平岸小学校グランド用地、旧住友炭鉱の不法侵入の報告。
- 15日 5名の一般質問（内容は次ページ以降に）
- 16日 2名の一般質問、行政常任委員会付託案件の報告、一般会計補正予算修正案が提出されたが否決され、原案どおり可決。意見書5件を可決し閉会した。



第2回臨時会

特別職給与減額案可決！

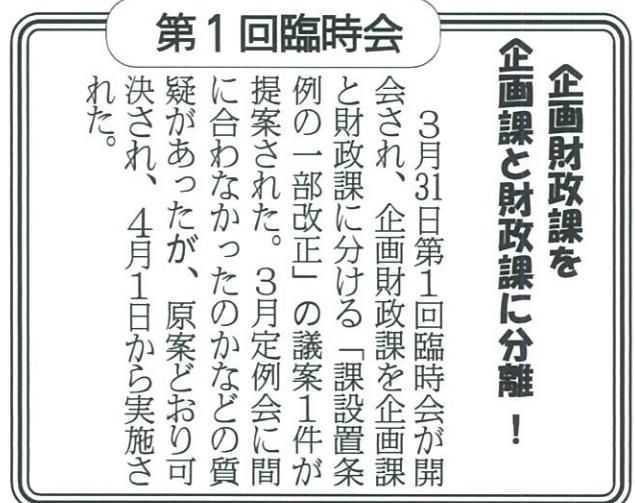
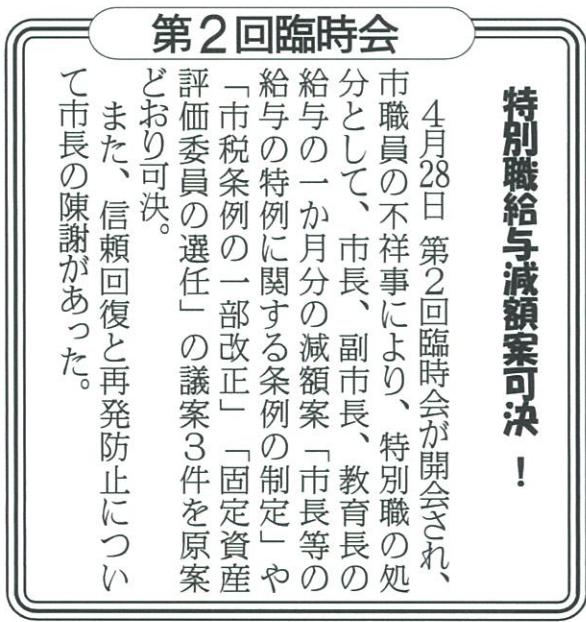
4月28日 第2回臨時会が開会され、市職員の不祥事により、特別職の処分として、市長、副市長、教育長の給与の一ヶ月分の減額案「市長等の給与の特例に関する条例の制定」や「市税条例の一部改正」「固定資産評価委員の選任」の議案3件を原案どおり可決。また、信頼回復と再発防止について市長の陳謝があった。



第1回臨時会

3月31日 第1回臨時会が開会され、企画財政課を企画課と財政課に分ける「課設置条例の一部改正」の議案1件が提案された。3月定例会に間に合わなかつたのかなどの質疑があつたが、原案どおり可決され、4月1日から実施された。

企画財政課を企画課と財政課に分離！



民主クラブ



一般質問

伊藤新一

保育所の現状と保育士の確保について

【質問】待機児童問題が保育士不足により社会問題になっている。赤平市の保育所では、朝7時から夜7時までの12時間の開所時間で土曜日も開所している。支援が必要な児童に対する加配、延長保育、一時保育など職員は対応していると思うが、保育士は足りてないのか。また待機児童が生じることはないのか伺う。

【答弁】今の人数では足りてない状況ではなく、ほぼ全ての職員が勤務時間を工夫しながら対応している。現場の保育士は保育の質が低下しないように、更には事故が発生しないように細心の注意を払いながら取り組んでいる。今後、出生者数が増加したことによる入所希望や転入世帯からの入

支援が必要な児童に対する加配、延長保育、一時保育など職員は対応していると思うが、保育士は足りてないのか。また待機児童が生じることはないのか伺う。

【答弁】統合小学校と認定こども園、それぞれの建設時期、必要な財源、更には市民の意見を聞きながらより良い方策を検討していく

い状態である。今後入園、入所希望があった場合、待機児童を出さないためにも建てるべきだと思うがいかが。

【質問】今現在、約100人の0歳児から5歳児の子供が幼稚園、保育所に、入園、入所されていない。保育士の確保もなかなか難しき状態である。今後入園、入所希望があつた場合、待機児童を出さないためにも建てるべきだとと思うがいかが。

【答弁】ある一定程度の交通手段の確保と言う意味では充足されていると認識しているが、今後は地域の二駆にあつた交通体系の確立が重要と考えており、今ある交通手段の持続に向けて自治体と事業者と住民が協働して役割を果たし分担することが重要と考えている。

【答弁】特養・グループホームなどでは待機者がいる。有料老人ホーム・サ高住は入所費用の軽減がないため入所できない方もいると思われる。

【答弁】計画の中では管理運営については自走化を目指してまいりたいと考えている。矛盾していないか。

【質問】地域再生計画につ

高齢者の定住施策について

【質問】総合戦略の高齢者

【質問】赤平市には、公共交通その他、生協バスもあるが、バス停までの距離が遠い移動空白地域及び移動困難者が増加している。高齢化率も高くなつていく中で、バス停から距離のある地域に住んでいる方々の交通手段を確保できないか。

【質問】茂尻地域から高校、中学校、病院が撤退し、商店街も衰退して、この調子で小学校まで無くなるとしたら、将来的に地域崩壊の危惧さえある。統合小学校の立地を、地域振興上の理由でまげることができないのであれば、一定の行政処分に伴い、特定地域が、地域振興上ダメージを受け兼

日本共産党



木村 恵

マイナンバーについて

【質問】住民税特別徴収税額通知書の送付にあたり、誤記載・誤配達などの事故が相次いでいる。マイナンバーの不記載の決定をした自治体もあるが赤平市も不記載にすべきではないか。

【質問】基本構想について将来への不安はなくなつたとは思えない。市長は「交付金に飛びついだ」「交付金が6千万円だつたらやめていた」などと発言していたが、交付金や無償譲渡がやめられない理由ではないか。

2

新政クラブ



御家瀬 遼

小学校の統廃合による統合小学校建設計画について

【質問】茂尻地域から高校、中学校、病院が撤退し、商店街も衰退して、この調子で小学校まで無くなるとしたら、将来的に地域崩壊の危惧さえある。統合小学校の立地を、地域振興上の理由でまげることができないのであれば、一定の行政処分に伴い、特定地域が、地域振興上ダメージを受け兼

【答弁】高齢化世帯に対象となるものをもう少しわかりやすい広報に努めていく。

青少年のスポーツ育成、全国・全道大会出場者の支援

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場する場合もあるが、当市としての支援体制強化をして

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場

【質問】市外へと競技や文化活動を求めて通う子どもが増え活躍している。中には、全道、全国大会に出場

公明党



五十嵐美知

【答弁】赤平市青少年基金を個人に助成対象とするか運営委員会で協議していく。

【質問】赤平市思いやりあふれる手話言語条例の推進について

【質問】先の3月議会において議会提案により手話言語条例が制定された。耳の聞こえる人、聞こえない人を含め、市民の皆さんに手話が言語として認識していく

【質問】赤平市思いやりあふれる手話言語条例の推進について

【質問】先の3月議会において議会提案により手話言語条例が制定された。耳の聞こえる人、聞こえない人を含め、市民の皆さんに手話が言語として認識していく

【答弁】条例第1条に「市民に手話の理解を広げ手話を必要とする市民が安心して生活のできる環境を整えることを目的とする」と定められており、これに沿って各種事業を推進し、近々、「広報あかびら」に手話コーナーを設け、手話講習の「出前講座」計画など含めPR活動の実施と各団体とも協議する。

【答弁】就学援助について調査し検討を進める。

【質問】文科省は平成29年度から「新入学児童生徒用品費」の単価を上げ、新たに入学予定者を加えてい

【答弁】本人と家族の支援を進めることで、高齢者住宅の整備に、養護老人ホームがなく、近隣市町の施設へ入所している方もいる。高齢者住宅のニーズは低くない、中々進まない状況をどう捉えを伺う。

【答弁】地域によってはシルバーハウジングの増設を望む声もあるが、現状では計画はしていない。

【質問】認知症増加への対策について、高齢化が進み認知症高齢者が増加する一方、一人暮らしの方も増え

【質問】認知症増加への対

島根県邑南町、鳥取県日南町10月30～11月2日にかけて、2町を視察研修で訪問してきました。
民主クラブ、公明党、日本共産党（若山、伊藤、向井、五十嵐、木村）

邑南町（おおなん）の「日本一の子育て村構想」では、保育所の第2子以降の保育料無料や、保育所完全給食無料、病児保育事業の充実など、片親世帯や共働き世帯の負担を軽減させていた。また医療の面においても産婦人科・小児科の常勤医を確保、24時間体制、ドクターへリ対応など充実をはかり、安心して暮らし、子育てができる取り組みが若い世代の移住定住につながっていることが分かりました。同時に住宅支援、無料職業紹介所の設置などUターン・Iターン者への支援も行われている事や、不妊治療費助成制度も行っており、今後も人口増が期待できるということでした。学校統合に関しての考え方については、できるだけ残す方針で地域を守るとして小学校一校の廃校にとどめており、町内唯一の高校も少人数学級で維持していくと取り組まれていました。今後の課題としては、利便性の良い土地に人口が集中することで高齢化率の地域別の偏りが見られることを挙げ、対策を考えているとのことでした。

日南町では子育てに特化した「日南町こどもゆめ基金」の創設や、保育料の完全無償化、病後児保育事業など参考になる施策が多くありました。

「日南町こどもゆめ基金」の活用方法は様々で、ツリーハウスをつくり自然を活用した保育の一環として園児の身体と心の発達促進に努めるなどに充てられていました。空き家対策については空家バンクの登録が毎年10件前後あり、移住専任相談員の配置や家財道具等処分補助金、自治会や地元住民へ情報提供をしっかり依頼していることや遊休公共施設を活用したおためし暮らしや、現在7事業所が入っているサテライトオフィスなども大変参考になりました。今回の視察結果を今後の赤平市民の暮らしの向上に役立てたいと思います。



三重県伊賀市（伊賀の里モクモク手づくりファーム）、京都府京田辺（NPO法人京田辺シュタイナー学校）奈良県天理市（天理本通商店街）10月17～19日にかけて、3ヶ所を視察研修で訪問してきました。
夢現会（竹村、植村）

平成28年度夢現会では、農業の6次産業化、想像豊かな子育てのあり方、商店街の活性化の3つのテーマに基づき、視察研修に行って参りました。最初に、伊賀の里モクモク手づくりファームは、農業振興を通じた地域の活性化を行っている企業であり、直営農業、ものづくり、農業公園を経営され、地元の雇用も含め、1,000名のスタッフとともに日々工夫をし合える職場環境づくりや経営力を高めるために、農業を知ってもらう農業観光部門に力を注ぐ考え方を学んできました。

次に、オーストリアの思想家ルドルフ・シュタイナーの教育思想に基づく民間学校、京田辺シュタイナー学校に伺いました。学校の学年は、小学校一年生から高校3年生（12年生）までが同じ学び舎の中で教育を受けられる環境であり、教育の分野にあたっては、教育者の責任で実施され、運営面では、保護者と学校で協力し合う体制を築き、親が作った棚など手づくりあふれる学校の備品も大変印象的でした。また、11、12年生になると将来のことを考える時間を増やし、卒業研究として自分の好きなテーマで

労働実習も行い研究書類を提出するなど、その子どものそれからの人生を自分自身で考える時間を与えている教育方針がとても素晴らしいと思いました。

最後に訪問した天理本通商店街では、行政も商店街の空き店舗を利用し、産業振興館を設置し常駐し、情報発信拠点の充実と各商店との情報共有を強化されていました。また、テレワークできる環境も整備し、本庁との打ち合わせ、主婦や障がい者も利用できる状態でした。そして、大学生、主婦とも連携し、商店街の事業拡大の現状や今後の展望を聞くなど貴重な機会をいただきました。

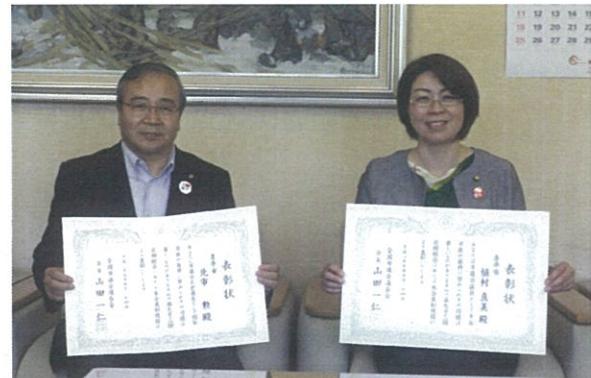


議会の動き

- | | |
|----------------------------|--|
| 3/22 議会運営委員会 | 5/16 議会改革検討協議会 |
| 3/22 行政常任委員会 | 6/ 2 議会改革検討協議会 |
| ・委員長の辞任 | 6/ 8 議会運営委員会 |
| ・正副委員長の互選 | 6/ 9 議会運営委員会 |
| 3/28 議会運営委員会 | 6/13 第2回定例会(～16日) |
| 3/31 第1回臨時会 | 6/13 議会運営委員会 |
| 3/31 行政常任委員会 | 6/14 行政常任委員会 |
| ・赤平市課設置条例の一部改正 | ・赤平市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定 |
| 4/ 5 行政常任委員会 | ・赤平市情報公開条例及び赤平市個人情報保護条例の一部改正 |
| ・公金及び団体会計運営費に係る着服事故の報告 | ・赤平市財政調整基金条例等の一部改正 |
| 4/ 5 議会改革検討協議会 | ・赤平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 |
| 4/ 7 行政常任委員会 | ・赤平市国民健康保険条例の一部改正 |
| ・職員の処分について | ・赤平市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更 |
| 4/26 議会運営委員会 | ・平成29年度赤平市一般会計補正予算 |
| 4/26 行政常任委員会 | ・平成29年度赤平市靈園特別会計補正予算 |
| ・あかびら市立病院の経営状況(12・1・2・3月分) | ・JR北海道の路線見直し計画に関する根室本線の状況 |
| ・アスベストの分析結果と今後の対応 | ・旧平岸小学校グランド用地 |
| ・4月18日の強風による被害状況 | ・旧住友赤平炭鉱施設の不法侵入 |
| ・日の出川の増水 | |
| ・平成29年度地方税制改正の概要(抜粋) | |
| ・統合中学校に係る経過報告 | |
| 4/28 議会運営委員会 | |
| 4/28 第2回臨時会 | |
| 4/28 議会改革検討協議会 | |
| 5/16 行政常任委員会 | |
| ・基金のあり方 | |
| ・炭鉱遺産活用基本構想 | |
| ・空知川治水促進期成会設立 | |

◎ 意見書 5件 可決

- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ・ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ・学校給食の拡充・無料化を求める意見書
- ・組織犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書



北市議長（正副議長4年）、植村副議長（議員10年以上）が全国市議会議長会から永年勤続表彰を受けました。

(新) 竹村 恵一
御家瀬 道
五十嵐 美知
木村 恵
かわら版編集委員会
委員長（新）向井 義擴
(竹村)

6月の定例会も終え、今回より新しい編集委員会で発行となりました。よろしくお願ひいたし
ます。市議会では、意見交換会で準備を進めていますので、詳細が決まりました。お知らせいたしま
す。もうすぐ、7月には火ま
つりがありますね！
市全体が盛り上がり、赤
雲にしましょう！
る日の方が、熱中症や脱
水症状を起こしやす
いと言われています。皆さ
ん、体調管理に気をつけ
て夏を乗り切りますよ！
9月にも定例会は行わ
れます、是非一度傍聴へ
お越し下さい！

編集後記

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。